

適用規格					
定 格	使用温度範囲 ⁽²⁾	-40℃ ～ +105℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC, DC 1000V			
	電 流 ⁽¹⁾	13A(周囲温度25℃)	適合ケーブル	φ7.4～8.2	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタに DC 1A で測定する。	5mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	5000MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 2200Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	インパルス耐電圧	嵌合状態にてコネクタ間に15kVの標準波形(電圧波形1.2/50μs、極性 正・負印加回数各3回)を印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的性 能	コネクタの挿抜力	φ1.57±0.003 の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.5 N以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 100 N以下	○	—
	端子固定力	結線側より、20 N の引き抜き力を加える。	端子の移動が無いこと。	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 10mΩ 以下	○	—
	耐振性	周波数 10～55～10Hz/サイクル, 片振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
環境的性 能	温度サイクル	温度 -40℃ → 常温 → +105℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度40℃, 湿度90～95 %中に96時間 放置する。	①絶縁抵抗: 50MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で 濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食が ないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +105℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -40℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深2mに 14日間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17- 圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△		DIS-A-00065601			
備考			承認	TP. KOMATSU	20220301
			検 図	EJ. KUNII	20220301
			担 当	SH. KOYAMA	20220228
			製 図	SH. KOYAMA	20220228
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番		SLC-118480-81-00
HRS	製 品 規 格 表		製品名		HR41A-17WBPAE-5SC (81)
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL0141-0223-9-81
				△	1/1